

平成 23 年度 日本デザイン学会秋季企画大会のご案内

■ テーマ: 「デザインに何ができるか 1995.1.17～2011.3.11～」

■ 大会趣旨:

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、1995年の阪神淡路大震災では体験しなかった、津波、放射能などの新たな問題によって、科学技術やデザインの各領域に、人々の生活や社会における安全・安心、信頼を取り戻すためのパラダイムシフトの必要性を突きつけています。平成 23 年度日本デザイン学会秋季企画大会では、第 58 回春季研究発表大会におけるオーガナイズドセッション「デザインから考えるー東日本大震災の現状と課題」などの活動の流れを受け、デザインの各領域が過去の震災から何を学んだか、今回の震災に対して何をなすべきか、何ができるのか、これからを見据えて取り組むべき課題は何かを、基調講演、震災プロポジション、学生プロポジション、パネルディスカッションなどを通じて議論していくことを目的としています。多数のご参加をお待ちしております。

■ 日時: 2011年11月12日(土) 10:00～17:00

■ 会場: 東京大学工学部 2 号館 2 階 221 講義室、中庭フォーラム
(東京都文京区本郷 7-3-1)

■ 参加費: 会員・非会員:1,000 円(被災地の会員は無料)、 学生:無料

■ 内容(予定):

● 学会各賞授賞式等 10:00～10:30

● 基調講演「震災後の工学は何をめざすのか(仮)」 10:30～11:15

● 基調講演「ユニバーサルデザイン視点による震災後のデザイン(仮)」 11:15～12:00

● 学生プロポジション／震災プロポジション展示 12:00～14:00

● パネルディスカッション「デザインに何ができるか(仮)」 14:00～17:00

司会: 尾登 誠一(東京藝術大学、日本デザイン学会副会長)

「被災地の現状(仮)」

「震災とユニバーサルデザイン(仮)」

「震災と情報デザイン(仮)」

「震災と環境・生活デザイン(仮)」

「震災とデザインの新領域(仮)」

● 懇親会カフェサロン(日本デザイン学会第 2 支部) 17:00～18:00

■ 企画・問合せ先:

東京大学 大学院工学系研究科 機械工学専攻 村上存

E-mail: jssd@mail.design.t.u-tokyo.ac.jp Tel: 03-5841-6327